

おはなし会

事業名	日時・参加人数
大人のおはなし会〔読書会〕（吾亦紅）	<p style="text-align: center;">中 止 （新型コロナウイルス感染症 拡大防止及び ICシステム導入作業のため）</p>
乳幼児向けおはなし会〔ブックスタート併用日〕 （職員＋図書館ボランティア協力）	
おはなし会〔幼児から低学年〕（吾亦紅）	
乳幼児向けおはなし会（図書館ボランティア） 保健師育児相談	
ブックスタートのおはなし会（職員）	
おはなし会〔幼児から低学年〕（図書館ボランティア）	
乳幼児向けおはなし会（図書館ボランティア）	
えいごのおはなし会（レディバグ）	

※11月より1階はなしのひろばを制限を設けて読み聞かせルームとして開設した。（1回につき1組）

閲覧室内企画展示

テーマ	内 容	実 績
旅本	移動に制限のある中、出かけずとも旅を体験できるような、旅行・観光に関する「旅本」を約100冊展示	9/25～11/15で貸出冊数239冊 貸出回転率239% コメント:ガイドブックと比べて貸出の少ない紀行文など文章主体の本を選書。
つくってみよう たべてみよう	食欲の秋にちなみ、「ごはんやおやつを作って食べる」をキーワードに絵本など児童書を約100冊展示。	9/1～11/15で貸出冊数546冊 貸出回転率546% コメント:食べ物の本ならではの華やかな表紙が特徴。子どもから大人まで幅広い年齢層が手にとりやすい企画。
夜の事件簿	秋の夜長に読んでほしい、夢・妖怪など夜をイメージする本や、夜に起こる出来事をテーマにした本などを50冊展示。	11/1～11/15で貸出冊数23冊 貸出回転率46% コメント:小学校低学年には夜をイメージする視覚的要素の強い絵本、中高学年にはフィクション、ノンフィクション、知識の読み物を幅広く選書。
Go To Art Museum （ゴートゥーアートミュージアム）	芸術の秋を「Go To ○○」に例え、子どもに美術・美術館について知ってもらおう機会とし、関連本やアート作品集など児童書30冊のミニ展示。	10/28～11/15で貸出冊数35冊 貸出回転率117% コメント:日頃あまり借りられない内容であるため、展示冊数を少なくしほぼ全冊の本の表紙を面出して展示方法を工夫した。

その他

昭和法人会 図書贈呈式	11/6(金)午後3時～ 118冊寄贈 一般社団法人昭和法人会より、創立70周年記念社会貢献事業(地域社会貢献活動の一環)として、児童書や税・経営に関する書籍を寄贈いただいた。
-------------	---

12月の予定

おはなし会

事業名	日時・備考
大人のおはなし会〔読書会〕（吾亦紅）	中止 （新型コロナウイルス感染症拡大防止及びICシステム導入作業のため）
乳幼児向けおはなし会〔ブックスタート併用日〕 （職員＋図書館ボランティア協力）	
おはなし会スペシャル〔幼児から低学年〕（吾亦紅）	
乳幼児向けおはなし会（図書館ボランティア） 保健師育児相談	
ブックスタートのおはなし会（職員）	
おはなし会〔幼児から低学年〕（図書館ボランティア）	
乳幼児向けおはなし会（図書館ボランティア）	
小学生向けおはなし会・ブックトーク等（学校連携ボランティア、学校連携嘱託）	
えいごのおはなし会（レディバグ）	

閲覧室内 企画展示（12月から展示する新規分）

※図書館の開館状況により変更の可能性あり

テーマ	内容
あったかいごはんが食べたい！！	読んだ後に今日の晩ご飯はこれを食べよう！という気持ちになるような、温かいご飯をテーマにした児童書(レシピ本を除く)を30冊展示。

○新型コロナウイルス感染症拡大防止について

※臨時休館 3月4日（水）～5月31日（日）

※部分開館開始 6月2日（火）～

【部分開館内容】

- ・6月18日（木）まで、広域地区利用者の入館、貸出を不可とした。
- ・7月2日（木）まで、新聞・新刊雑誌閲覧、複写機の利用、1階部分の閲覧席の利用、館内すべての図書検索端末の利用を不可とした。
- ・8月7日（金）から、1階部分の閲覧席の利用を不可とした。
- ・9月1日（火）から、1階部分の閲覧席の利用を可とし（約半減）、滞在時間を30分から1時間以内とした。
- ・10月1日（木）から、平日の開館時間を午前9時から午後7時までに戻した。
- ・11月1日（日）から、2階学習室（会議室、多目的ルーム）と特別資料閲覧室の利用再開、貸館ルールの変更、はなしのひろばの開放を実施

○図書消毒機

9月25日（金）に1台設置

○ICシステム導入の準備

- ・作業日程：10月1日（木）から令和3年3月31日（水）まで
- ・導入作業に伴う変更点

本・雑誌・紙芝居の貸出冊数を5冊、貸出期間を2週間に戻す

2階AVルームを作業用に使用するため、令和3年3月31日（水）まで利用中止

令和2年度 中央図書館 事業進捗状況管理表

(R2. 3/4~5/31 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館)

事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備考
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 新規読み聞かせボランティアの育成	読み聞かせの回数を増やしたい	団体を1団体(10人)増やす	1.新規ボランティアを対象とした勉強会(ボランティア同士の読み聞かせ披露と意見交換、おはなし会のプログラム作成など)を月1回実施。 2.事務局がフォローしながら、団体を立ち上げる。 3.新規ボランティアによる新たなおはなし会を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアや団体の活動を控えており、勉強会の実施は中止した。 今後の勉強会の実施方法や開催時期について検討。	勉強会の実施 中止 新規ボランティア団体立ち上げ 延期												第2次子ども読書活動推進計画 基本目標1-2-(4)
2 本の展示の実施	本の魅力が伝わる機会が少ない	テーマ展示本の貸出回転率を1.2とする(展示冊数の1.2倍)	1.図書館員が自身で企画した展示の実施。 2.閉架の図書も展示図書に組み込む。 3.選定したテーマに基づき本を専用スペースに2ヶ月単位で展示。 4.展示本の位置情報の変更入力処理や、人目を引くディスプレイをし、利用者が手に取りやすくする。	①棚27番(南玄関)「旅本」 ②北玄関棚「つくってみよう たべてみよう」 ③棚19番(児童書架)「夜の事件簿」 ④棚24番(カウンター前)「Go To Art Museum」	テーマ展示本の貸出回転率(%) 展示中止 展示リストをホームページへ掲載 ①109% ①184% ①239% ②197% ②75% ②546% ③146% ③138% ③46% ④-1 266% ④43% ④44% ④117% ④-2 323% ⑤188%												教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進
3 不明化対策事業	不明本が発生している	年間の不明本冊数削減(前年度の蔵書点検時不明本冊数124冊、目標100冊)	1.不明化傾向に基づく本の配置換え(随時)。 2.本にマーキング(館所蔵を表示) 3.持ち出し発生書架に警告表示 4.「防犯カメラ設置中」等の表示の更新・場所替え(年3~4回) 5.職員による巡回による抑止力強化(1日2回程度)	・不明化傾向分析に基づく本の配置換えを継続。 ・本にマーキング(館所蔵を表示)を継続。 ・持ち出し発生書架内に警告表示を設置。 ・職員による閲覧室巡回を実施。	不明化傾向分析に基づく本の配置換え、本にマーキング(館所蔵を表示) 職員等による閲覧室巡回 未実施 表示の総点検実施 集計と検証(毎月) 黄ばみ等の点検、位置変更など 未実施 51冊 0冊 0冊 0冊 3冊 0冊 冊												
4 延滞対策事業	延滞本が多い	・月次集計(3日~3年)時点での延滞冊数を700冊以内とする。 ・20日以上30日未満の延滞冊数を300冊以内とする。	1.1日以上の延滞者へ窓口で注意喚起。 2.延滞者に督促はがきを毎週郵送。 白色はがき:15日以上30日未満 黄色はがき:30日以上100日未満 3.20日以上30日未満の延滞者へ毎週督促電話をする。 4.40日以上30日以上の延滞者は貸出禁止措置後、次回貸出時に職員からの厳重注意(マナーの説明、イエローカードを渡す)。 5.新規登録者に対する延滞注意喚起方法を導入する。	・100日以上30日以上の延滞者への封書による督促をした。 ・臨時休館以前の返却日の延滞者への督促はがきを郵送した。 ・15日以上30日未満 冊 ・30日以上100日未満 冊 ・20日以上3年未満(督促電話) 冊 ・40日以上(貸出禁止措置) 冊	延滞者に督促はがきを毎週郵送(通年)15日以上30日未満 該当なし 延滞者へ注意喚起カードを窓口で配布(通年) 該当なし 集計と検証(毎月)3日以上3年未満の合計 602冊 254冊 87冊 305冊 687冊 976冊 1,440冊 冊												